

建材 マンズリー

NO.675

1

JANUARY
2022

特集

2022年 注目キーワード

編集室の商品ピックアップ

お掃除カンタン! 優れたもの建材

注目企業を訪ねる

株式会社さとゆめ



新年のご挨拶

住友林業株式会社 常務執行役員 木材建材事業本部長 田中 耕治



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平素は「建材マンスリー」をご愛読賜り、誠にありがとうございます。また、旧年中は格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
未だ、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株により先の見えづらい状況が続きますが、一日も早い終息と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催が1年延期されたCOP26が、昨年11月にグラスゴーにて開催されました。気候変動の要因となる温室効果ガスを今まで以上に削減することが各国で合意され、経済回復と同時に脱炭素社会の実現に向け、世界各地で動き出しました。

日本では、昨年10月末に行われました衆議院総選挙において与党が絶対安定多数を維持しました。それにより「2050カーボンニュートラル」の実現に向けて従来の方針を踏襲しつつ継続して取り組む考えが示されておりあります。

一方我々の業界に目を向けると、昨年はコロナ禍の中、想定外ともいえるアメリカでの住宅建設ブームや中国の急速な経済回復等に端を発したウッドショックに翻弄されてきました。また建設資材や原油の価格高騰、住設機器の供給難などにも見舞われ、

今なお不透明な事業環境が続いています。
加えて脱炭素社会に向けた大きな動きが我々の業界を待ち受けています。このような社会情勢の中、民間企業でも脱炭素社会実現に向けた取り組みは一層加速していくことが予測されます。

当社においてはこの動きを大きなビジネスチャンスとして捉え、国内外での森林経営、木材建材流通、木造建築などの事業を通じて脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

その中核を担う木材建材事業本部では、四つの重点課題に向けて取り組んで参ります。一つ目は、国産材事業の拡大です。2020年の国産材自給率は48年ぶりに40%を超え、今後も国産材の需要は高まること予想されます。そこで国産材を用途に合わせて使い切る循環型資材供給システムの確立や、住友林業フォレストサービスの機能拡大による国内での買山、再造林、インフラ整備等に積極的に取り組みます。二つ目は脱炭素事業への取り組みです。欧州で先行するEPD※の取得に向けて各メーカーを支援し、商品のCO2排出量の見える化とそれに伴う新たなビジネスを創出します。また太陽光PPA事業等の環境ビジネスに加え、循環型社会の実現の一環としてバイオマス燃料事業の拡大を図ります。三つ目は国内事業の変革です。既存の木材や建材の流通事業はもちろんのこと、

と、ホームエクスペリエンス構造設計社を中心とした設計・構造計算のスピード化や省力化、ホームエコ・ロジスティクス社を核とした物流、お取引先様のDX支援といったサービスを事業の柱として確立して参ります。最後は海外事業との密なる連携です。エリア別の戦略を立て、グループ間シナジーの創出に努めて参ります。

本年の干支は、十干が「壬」、十二支が「寅」の組み合わせの「壬寅」です。厳しい冬を越えて、新しい成長の礎の年となると言われており、まさに今の世界情勢を示しているかのようです。コロナ禍でダメージを受けた社会・経済を立て直し、Withコロナ社会に向けた新たな働き方など、これからの世界への芽吹きを感じられる年となることを切に願っております。当社におきましても、お取引先の皆様と共に良い変革を起こして業界を盛り上げ、新しい成長の礎を築いていけるよう、知恵を絞って有効な手立てを講じて参りたいと存じます。

「建材マンスリー」は、より有益な情報を分かりやすくタイムリーにお届けする、をモットーに、今後も適進して参ります。引き続きご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。
最後に皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

特集

2022年 注目キーワード

2021年は、地球規模の諸問題に対して、人々が英知を寄せ合った年だった。

現在も変異を繰り返す新型コロナウイルスはいまだ人々の脅威だが、私たちはワクチンと新たな治療薬を手に入れ、どう共存していくかの答えを模索している。地球に重大な気候変動をもたらす温暖化に対しては、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」への動きが世界で加速している。困難な変動の時代に寄り添うように、新しいイノベーションが生まれ、パラダイム転換が起こりつつある。今号では住宅業界に関連した注目のキーワードの中から2022年以降に新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらすと予測されるものを編集室が3つ選び、識者の方々に解説してもらった。

サーキュラーデザイン

大量生産・大量消費・大量廃棄の「リニアエコノミー」から、資源を循環させ可能な限り廃棄物を出さない「サーキュラーエコノミー」へと転換するための手法。デザイン力で循環型社会を目指す取り組みが注目されている。

アンモニアエネルギー

家庭用ロボット

ネイチャー・ポジティブ

人工光合成

ドローン物流

グリーンボンド

浸水対応都市

気候変動の影響による水害リスクが高まる中、水害の被害を最小限に食い止めるまちづくりが求められている。その一つが浸水を前提とした市街地構想だ。浸水に備えつつ平常時は親水も楽しめる、そんな日常が実現する日もそう遠くはない。

人間拡張

重い荷物でも軽々と運搬するなど、人間の能力を今よりも強化するテクノロジーの研究が進んでいる。AIやVRの普及により身体能力のみならず認知領域や社会性の拡張も進んでおり、私たちの生活や働き方にも大きな変化をもたらさそう。

※ EPD (Environmental Product Declaration) : 国際的な環境ラベルの一つ。製品の一生の環境影響がどのくらいあるかを算定し、第三者が認証した製品にEPDラベルを付けることができる

サーキュラーデザイン

デザインの持つ創造的な力で 廃棄物の捨てる方を根本から変える

捨てる行為を「デザイン」直して
循環型社会を実現する

世界で排出される廃棄物は年間170億トンにも上るといわれ、このままでは資源不足や地球環境の悪化がより一層深刻化していくだろう。そこでこれらを資源として再循環させ、廃棄物の出ない経済の仕組みを目指すのが「サーキュラーエコノミー」（循環型経済）だ。そ

の実現のため、製品やサービスの作り方を根本から見直す「サーキュラーデザイン」（図1）の考え方が重要視されてきている。「デザインには、分野を横断し、研究や技術を具体的な形で社会に示す役割があります。それを我々は「実装化」と呼んでおり、デザインを用いて人々の気持ちや行動を変える働きを持っています。私たちはこのデザインの力を信じ、サーキュラー

デザインを推進する行動を始めました。それが2021年5月からスタートした、多摩美術大学と企業5社が協働したプロジェクト『すてるデザイン』*です。捨てる行為自体をデザインし直すという意味で、「すてるデザイン」と命名しました。

プロジェクトは3つのフェーズから成り立っています（図2）。第一フェーズは捨てるモノをリサイクルやリユースしてデザインし直す領域。第二フェーズは、製品のモジュール化やサービス化などによって、資源が循環する仕掛けを設計時から組み込んだ、捨てる前提をデザインする領域です。第三フェーズは回収の仕組みなど、社会全体を巻き込むためのエコシステムをデザインする領域となります（永井一史氏）

「プロジェクトはフェーズ一・二から始めており、今は企業が抱える産業廃棄物の問題などをデザインでどう解決できるか、という活動を行っ



多摩美術大学
生産デザイン学科プロダクト研究室
教授
よしはる
濱田 芳治氏



多摩美術大学
総合デザイン学科研究室
教授
かずふみ
永井 一史氏

ています。第一フェーズでは、分別しづらい頑丈なスーツケースの再資源化や、オフィス家具の製造時に出る端材のアップサイクリングなどを行っています。第二フェーズでは、製品の設計段階から再利用のしやすさを検討します。例えば複合機や自動車のメーカーの中には、部品を規格化することで、無駄なく簡単に修理交換が可能な仕組みを構築している会社もあります。また木材等の循環可能な原材料や単一素材で構成された製品なら、リサイクル率が上がります。他にも「製品のサービシ化」は、すでにサブスクリプションなどのサービスが登場しています。第三フェーズは第一、第二フェーズの積み上げにより人々の行動変容が起り実現していくでしょう。

*「すてるデザイン」：多摩美術大学が2021年5月、株式会社モノファクトリーをハブにしながら、伊藤忠リーテイルリンク株式会社、株式会社ナカダイ、フックオフコーポレーション株式会社、プラス株式会社をはじめとする計5社と協働し、循環型社会に向けて始めた共創プロジェクト

図1. サーキュラーデザインの主な6つの戦略

① 製品の長寿命化
② 利用に重きをおく、製品からサービスへの転換
③ 循環できる原材料の利用
④ デジタル化による脱物質化
⑤ 製品のモジュール化
⑥ 生分解可能な資源の利用

※ サーキュラーエコノミー推進機関が提唱

図2. 「すてるデザイン」プロジェクトの3つのフェーズ



浸水対応都市

水害のリスクと共生し 平常時と浸水時を両立するまちづくりを

浸水時でもライフラインの確保ができる
「浸水対応型拠点建築物」

世界各地で大雨による洪水被害が多発している。日本では明治以降、インフラを整えて水害を防ぐ考え方が主流だったが、昨今の気候変動の影響により災害の激甚化が想定以上に早く進んでおり、防ぐだけでは限界が見えてきた。

「ある調査によると、気温が2℃上

昇すると川の水量が1.2倍に増え、水害の頻度は2倍にもなると報告されています。100年に一度といわれるような大雨も、50年に一度と短い期間で発生するようになることが予想されます。こうなると、従来型の水害対策だけでは大切な命や財産を守ることが困難になってきます。すなわち、①治水（水をためる、流す）、②広域避難対策（逃げる）に加え、③浸水対応型市街地の構築（受け流す）という、三位一体の対

図. 浸水対応型拠点建築物イメージ



(上) 平常時は水辺に親しむ公共空間として利用し、(下) 浸水時には避難拠点となる



東京大学生産技術研究所 教授
社会科学研究所 特任教授
加藤 孝明氏

策が必要となってきたわけです」

その代表例ともいえるのが、東京都葛飾区だ。荒川や中川、江戸川などの河川に囲まれ、満潮時には海面以下の高さとなるゼロメートル地帯に位置する同区は、戦後の市街地化により低層住宅地が広がっている。加えてすり鉢状の土地であるため浸水すると排水されにくく、高まる水害リスクに備えることが喫緊の課題である。一方、これらの川のある美しい都市空間のポテンシャルを活かし、魅力ある街になる可能性も秘めている。

「葛飾区では、以前からスーパー堤防*や公園の高台化など浸水に備える対策を検討しています。それらに加え、「浸水と親水」の考え方をベースに、水辺に親しむ場を提供しながら水害リスクと賢く共存するまちづくりを目指しています。それを実現するのが『浸水対応型市街地構想』で

あり、未来の浸水リスクを織り込んだ街をつくっておこうという取り組みです。川の魅力を原動力に浸水対応を促進します。平常時と浸水時を両立し、「逃げられる」「生き延びられる」ための機能を持った周辺に、「安全のおすそ分け」ができる『浸水対応型拠点建築物』の検討も始まっています」

例えば、1階部分はピロティにして玄関や駐車場に、また2階以上に食料や生活インフラを備える巨大備蓄庫を設けた建築物を建てておき、平常時は水辺の憩いの場として活用。水害が発生し市街地が浸水すれば、階段を船着き場として活用し避難拠点となる建物が考えられている。

「浸水対応型拠点建築物は、技術的には新しいものでなく、建築自体は可能です。しかし実現のためには予算や土地の問題をどうクリアしていくかが課題となります。地球規模の気候変動の影響により、水害のリスクは予想を超えるスピードで高まっています。建築業界や開発業者など民間企業も巻き込んで、早急に計画を進める必要があるでしょう。浸水対応型のまちづくりができれば、気候変動に対する取り組みとして世界をリードする対応モデルになるはずです」

* スーパー堤防：「高規格堤防」。堤防がなだらかな斜面となっている幅の広い堤防。高さに対して約30倍の幅があるため、水が堤防を越えても、決壊することなく斜面を緩やかに流れる

写真：テレイグジスタンスロボット（分身ロボット）



人間拡張のうち、空間を超えた身体行動を可能とする技術体系を「テレイグジスタンス」という。その技術に応用したロボットを用いれば遠隔地のモノの視覚・触覚などを操縦者に伝えることができる

人間拡張

「身体」「時間」「空間」を超え テクノロジーで社会課題を解決する

AIやVRの普及により
個々を超えた社会性の拡張も

テクノロジーによって人間の身体能力や知覚などを向上、補充することを「人間拡張」Augmented Human（オーグメンテッド・ヒューマン）

という。近年、様々な社会課題を解決に導く技術として注目が集まっている。すでに実用化が進んでいる事例としては「パワーアシストスーツ」*1が挙げられる。

「多くのテクノロジーは人間拡張に貢献するものであり、視力を上げる眼鏡もその一つといえます。つまり、人間拡張の概念は昔からあったものですが、近年ではAIやVRなどの普及により、驚くべき速度で進歩しています。例えば、遠く離れた場所から、AIにアシストされたロボットを操作して精密な作業を行うなど、人間の能力をどこか別の場所に再現することも可能となります。かつてはSFの世界であった、人間が時間と空間を超えることが現実になるうとしていたのです」

人間拡張の分野は大きく3つの段階に分けることができる。
「一つは①**身体能力の拡張**です。

速く走る、重いものを持つなど物理的な能力の拡張がその代表ですが、ロボットやアバターを活用して遠隔地やバーチャル空間で活動することも一種の身体能力の拡張といえます。

特に進歩のスピードが速いのが②**認知領域の拡張**です。例えば、VRゴーグルや触覚ロボットなどを用いることで、別の人の経験を追体験できます。この技術により日本の男性が海外の女性の体験をしたり、一般の人がアスリートの体験をすることも可能になります。その人がその人である限り知り得なかったことが、テクノロジーの力で体験できるわけです。アメリカではすでに、人種問題やDVなどに対する心理療法の一環としても取り入れられています。また人間拡張には③**社会性の拡張**も含まれます」

かつては自分の町、国単位でつながっていたものが、今やSNS等のが



慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科
教授

南澤 孝太氏

つながりで従来の単位を超えて広がっている。まだ課題も多いが、これまでの文字のやり取りから、一歩進んで同じ経験を共有できるようになれば、個々と他者との相互作用の拡張といった、社会性の拡張が期待できる。

「人間拡張の技術を用いれば、『身体』『時間』『空間』を超えることが容易になるため、障害を持った人や高齢者でも、能力を伸ばし、個性を生かしながら活躍することも可能になります。実際に、寝たきりの方でも働くことができる「アバター（分身）ロボットカフェ」*2も人間拡張の技術により実現しました」

このように家に居ながらにして離れた現場での仕事ができるようになれば、そんな生活に合わせた空間づくり、まちづくりが必要となるかもしれない。

「今後の課題の一つに、法整備が挙げられます。例えば、海外にいないから日本でロボットを操作して働き、そのロボットが街を歩くようになつたら、それは「人国」になるのでしょうか。物理的な国境とデジタルの国境をどうとらえるのか、社会制度の検討を進めていくことも必要です」

*1 重いものを運搬する際に足腰への負担を軽減し、人の動きをサポートする装着型の装置

*2 2021年6月に東京・日本橋にオープンしたカフェ（株式会社オリイ研究所が運営）。寝たきりの方でも目の動きなどで動作指示を出すことでロボットを動かして仕事を行うことができる

年末の大掃除をするたびに「日頃から掃除しておけばよかった」と後悔する人も多いのではないのでしょうか。手入れや掃除のしやすさは間取りなども関わりますが、住宅設備や建材によっても大きく左右されます。日頃から常にきれいな状態を保って、「大掃除」の概念を変えてみたいものです。そんな思いを込めて新年の商品ピックアップは「掃除の手間を楽にしてくれる優れた建材」を紹介します。

お掃除カンタン！ 優れた建材



浮いたトイレで簡単床掃除 住宅用壁掛けトイレ「FD」

TOTO 株式会社

高級感とデザイン性、そして掃除のしやすさを追求した住宅用壁掛けトイレ。便器が浮いているため、床面はワイパー一つで隅々までさっとひと拭き。さらに給水管、電源コード類が便器背面のキャビネット内に納まり、タンク周りや便器の奥の掃除もストレスなしで行える。便座はトルネード洗浄やきれい除菌水などの機能がついた「アプリコット」も選択可能。

【仕様・価格】

便座：ウォッシュレットアプリコット/ウォッシュレットS
 キャビネットカラー：2色、天板カラー：5色
 希望小売価格：298,000～377,400円(税抜)
 ※「やわらかフロアライト」はオプション
 (20,000円、税抜き)

● 問い合わせ先：TOTO株式会社
 TEL：0120-03-1010

(一般のお客様向け相談室)

FAX：0570-01-2111

URL：<https://jp.toto.com/products/toilet/fd/index.htm>

クレヨンの落書きも簡単に拭き取れる 機能性とデザインを兼ね備えた壁紙「幼児の城」

ルノン株式会社

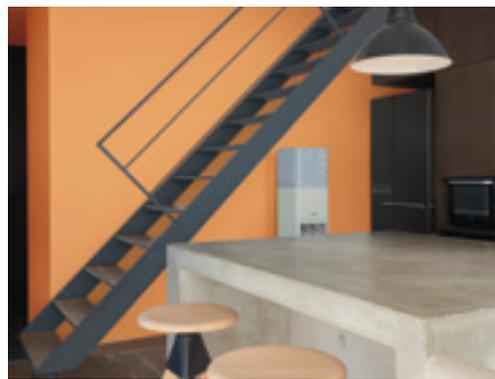
子どもの感性を刺激し、豊かな心を育む多配色機能性壁紙。抗菌フィルムラミネート加工によりキズや衝撃に強く、汚れも拭き取りやすい汚れ防止機能付き。クレヨンや水性サインペンによる落書きも、水や中性洗剤で拭き取ることができ、汚れがほとんど残らない。また、抗菌性能により壁紙の表面に付着した細菌の増殖を抑制する。自然界をモチーフとした60色のペイント調のカラーリングは、天然木やフローリングとの相性も良い。

【仕様・価格】

材料：塩化ビニル樹脂系壁紙
 機能：抗菌、汚れ防止、表面強化、防カビ、不燃 有効巾：92cm
 参考価格：1,000円/m 1,090円/m
 (施工代は含まず・税別)

● 問い合わせ先：ルノン株式会社
 TEL：03-3492-7341

URL：<https://ssl.runon.co.jp/youjinoshiro/>



フラットレールでラクラクお掃除 アルミ樹脂複合サッシ「ALGEO」(アルジオ)

三協立山株式会社

掃除が面倒だったサッシのレールの表面を平らにし、ゴミなどが入りにくくなった「楽する！フラットレール」を採用。通常の窓レールには段差や切り欠きがあり、深い溝を隅々まできれいにするのは大変だったが、独自の構造により凸凹がなくなったためサッとひと拭きで簡単に掃除が可能に。またアルミと樹脂の複合サッシは断熱性能に優れ、夏の強烈な日差しや冬の凍えるような寒さにも負けず、年中快適に過ごすことができる。

【仕様・価格】

材質：窓外側アルミ、窓内側樹脂
 カラーバリエーション：内観色と外観色の組み合わせは22通り
 参考価格：96,000円～ 引違い窓(サイズ：1,690×2,030mm)

● 問い合わせ先：三協立山株式会社

URL：<https://alumi.st-grp.co.jp/products/window/algeo/index.html>

汚れがつきにくく楽に落とせる「らくらくり〜ん」 超よごれ防止機能付き床タイル

株式会社 TChic (ティーシック)

タイルの汚れは、タイル表面の微細孔に汚れが入り込み、蓄積されることによって起きる。「らくらくり〜ん」は、独自の加工技術でタイル表面の小さな孔を高硬度の無機質ガラスで覆うため、汚れそのものが付着しづらい構造だ。そのためタイルへの汚れを抑えるだけでなく、少し水で濡らしてこするだけで汚れを楽に落とせる。また、硬度も高く、傷がつきづらいので戸建て住宅の床タイルや公共施設の外装床タイルなどにぴったりだ。

【仕様・価格】

商品例：パーチ(600×300角平) = 594×294mm(実寸法)、600×300mm(目地共寸)、9mm(厚さ)、5.75枚/m²(m²あたり必要枚数) 価格：7,800円/m²

● 問い合わせ先：株式会社 TChic

TEL：03-6304-5604

(SWANTILE 東京ショールーム)

URL：<https://swantile.jp/product/category/rakuraclean/>



注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

ふるさとの夢をかたちに 全力で伴走する 地域創生コンサルタント



代表取締役社長

嶋田 俊平氏

本社 ● 東京都千代田区九段南
4-7-16 市ヶ谷KTビルII
9階
創業 ● 2012年
資本金 ● 5,910万円
(資本準備金含む)
従業員 ● 20名
事業内容 ● 持続可能な地域づくりのためのヒト・モノ・コト・バづくりの伴走型コンサルティング、トータルコーディネート

株式会社 やとゆめ

アイデアだけでは
地方創生は実現しない

——多摩川の源流部に位置し、面積のおよそ95%が森林という豊かな自然に囲まれた山梨県小菅村。人口がピーク時の3分の1となる700人にまで減少するなど、深刻な過疎の村でもあった。この地の観光客数をわずか5年で8万人から18万人へと倍増させ、人口減少に歯止めをかけたのが、地方創生事業のプロデュースを行う株式会社さとゆめである。

「地域づくりを支援する企業は多数ありますが、当社の特徴は『伴走型コンサルティング』を売っている点です。アイデアを出して役割を終えるのではなく、持続可能な地域づくりに向けたヒト・モノ・コト・バをつくり、事業が軌道に乗るまで寄り添います。例えば、地域の特産品を

地域に貢献したいという
想いを持った人材育成が不可欠

——嶋田氏は店のコンセプトの策定から商品の確保、スタッフの育成に至るまで奔走し、2015年3月、ついに「道の駅こそ」がオープンした。

「これをきっかけに、小菅村の地方創生事業に携わることになりました。そして2019年に『NIPPONIA小菅源流の村』をオープン。700人の村を一つの宿に見立てた分散型ホテルで、地域に分散した古民家を再利用しています。村民がスタッフを務め、食材はほとんどが小菅村で採れたものを用いました。計画当初は地域の方も乗り気でなく、実現が危ぶまれるときもありましたが、丁寧に説明を続け、最終的には地域の方を巻き込むことができました。我々の小菅村への想いが、地域の人々に伝わり実現したプロジェクトなのです。観光客と人口の増加により、雇用も生まれています」

——この事業がきっかけとなり、2021年、同社はJR東日本との共同出資で「沿線まるごと株式会社」を設立。過疎化が進む青梅線沿線の活性化に向け、駅舎をホテルのフロントに、古民家を客室に、地域住民をキャストとして接客・運営し、新たな滞在型観光やマイクロツーリズムを掘り起こす地域振興事業である。一方、新しい事

ここが注目ポイント

計画の立案から実行まで
長期にわたり伴走する

ヒト・モノ・コト・バづくりを通じ
持続可能な地域づくりが可能に

計画起点から人起点の地方創生に
シフトチェンジ

全国の挑戦者 × 意志のある地域

多様な人材が地域と協働し、新たなビジネスを創出

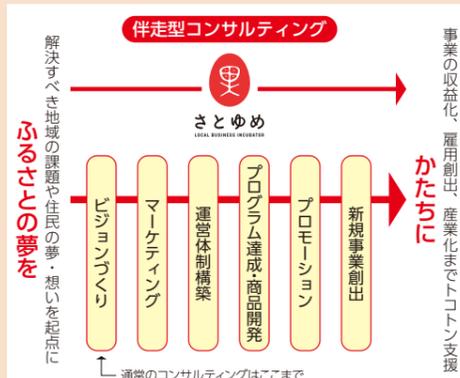
越境×実践型スタートアッププロジェクト「100DIVE」では、ローカルビジネスを連続的に輩出していくことを目指す

沿線まるごとホテル

無人駅 空き家 地域住民

ホテルのフロント ホテルの客室 ホテルのキャスト

「沿線まるごとホテル」事業のイメージ。地域住民をはじめ、JR社員とさとゆめ社員が伴走していく人起点の事業モデルを展開する



さとゆめの業務に対する姿勢「伴走型コンサルティング」の流れ

バづくりの支援例。地域全体を一つの宿に見立てる分散型ホテル「NIPPONIA小菅源流の村」では築150年を超える古民家を、自由なスタイルで地産地食を楽しむ空間に生まれ変わらせた

使って商品開発を行う場合、商品のアイデアを出しまで多くのコンサルティング会社の仕事です。しかし私たちは、消費者の反応をリサーチして改善にも携わり、売り方も含めた販路の開拓まで行っています」

——事業が形になるまで数年単位で時間を費やし、地域に伴走するのが同社のポリシーだ。しかしなぜ、手間暇のかかる事業スタイルを選んでいるのか。それがまさしく、起業のきっかけであるという。嶋田氏は幼少期を海外で過ごした経験から、ふるさとと呼べる場所がなかった。そのため、大学時代のサークル活動で通った京都の山村にふるさとの姿を重ね、大切に守りたいと考えるようになったという。

「大学卒業後はコンサルティング会社で地域創生事業に携わりました。ところが、何年たっても計画が実現しない。それもそのはずで、現場でのノウハウやネットワークがなければ実行は困難です。地方創生のために必要な要素は計画が1%程度で、残り99%は実行力だと痛感させられました」

——こうして嶋田氏は、同じ想いを持つ同志と共に、地域に伴走してサポートする「さとゆめ」の起業に至った。最初の事業は前述の小菅村の地方創生。内容は、村の一大事業である「道の駅」の立ち上げ案件だった。

業を進めるにつれ、課題も感じるようになってきたと嶋田氏は話す。

「現在では約40の地域から依頼をいただいています。仕事はあるが人がいない」という状況です。これまで、戦略から立てる『計画起点』の事業を行ってきましたが、地域の労働人口の減少により、事業が進まなくなりました。そこで当社では、地方創生への想いを持った人材を育てることから始める『人起点』の事業に転換を図りました。まずは『株式会社100DIVE』を設立し、地域課題を抱える自治体とそれを解決したい人材を募りマッチングさせます。そして3カ月かけて地域課題の解決のためのプランをつくることでノウハウを学んでもらい、人材育成を行っていきます。そのプランが採用された場合は、当社がコンサルタントを引き継ぎます」

——日本には1700を超える自治体があり、多くは過疎化・高齢化に悩んでいる。「さとゆめ」の基本姿勢はそこである必然性を重視すること。地域の歴史と文化に根付いた事業を考えていくという。また、地域の人を巻き込むことも重要だ。その土地に住まう人が危機感を持てば、自分たちから地域を変えようという行動してくれる。すべての人があることに誇りを持ち、全国で想いと熱がこもったプロジェクトが動き出せば、日本はもっと元気になるはずだ。

「こどもみらい住宅支援事業」を創設 子育て世帯・若者夫婦世帯の住宅取得を支援 — 国土交通省

子育て世帯・若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減と、省エネ性能を有する住宅ストック形成のため、一定の性能を満たす新築住宅の取得や省エネ改修に対して補助金を交付する「こどもみらい住宅支援事業」が令和3年度補正予算にて創設された。予算額は542億円。

【事業概要】

● **新築**：18歳未満の子がいる「子育て世帯」、夫婦のいずれかが39歳以下の「若者夫婦世帯」が一定の省エネ性能を有する新築住宅を購入した場合、最大100万円

の補助金。

● **リフォーム**：全ての世帯において一定の要件を満たすリフォームを行う場合最大30万円の補助金（子育て・若者夫婦世帯の場合等に上限引き上げの特例あり）。

● **申請者**：住宅所有世帯に補助金が還元されることを条件に事業者が申請（事業者登録が必要）。

● **対象期間**：2021年11月26日以降に契約し、事業者が事業者登録を受けた後2022年10月31日までに着工したもの。

■ 子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築

対象住宅*の性能	補助額
① ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Oriented (強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの)	100万円/戸
② 高い省エネ性能等を有する住宅 (認定長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅)	80万円/戸
③ 省エネ基準に適合する住宅 (断熱等級4かつ一次エネ等級4以上を満たす住宅)	60万円/戸

*対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上とする

■ 住宅のリフォーム

対象工事	補助額
① (必須) 住宅の省エネ改修	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸* *子育て世帯・若者夫婦世帯は、上限45万円/戸(既存住宅購入を伴う場合は上限60万円/戸) *安心R住宅の購入を伴う場合は、上限45万円/戸
② (任意) 住宅の子育て対応改修、耐震改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	

わが社のイチオシ

依頼条件を入力して1分で配送業者が決まる 配送マッチングシステムで建材物流をサポート

ホームエコ・ロジスティクス株式会社 林 敬和さん
(東京都新宿区) 営業部 課長

住友林業のグループ会社である当社では、全国30拠点以上の「中継センター」を通じ、建材物流の合理化・効率化を実現してきました。2017年からは、荷主とドライバーや運送会社を直接つなぐ配送プラットフォーム「PickGo」を運営するCBcloud(株)と業務提携して、より細やかなサービスを提供しています。

このサービスの大きな特徴は、依頼から配送決定までのスピードが速いことです。今までの電話やFAXによる依頼と違ってWeb上で全て操作ができるので、全国3万人のフリーランスのドライバーや約1,000社の運送会社と瞬時につながります。

エリアは全国対応で、軽貨物車両から10tトラックまで手配ができ、24時間365日稼働しているので、

いつでも依頼が可能です。特に手配しにくい緊急便の対応などはお客様に喜ばれています。利用料金の見積もりはWeb上で確認でき、また独自の評価制度があるので配送の品質も保たれます。

建材の配送手配が短時間で確実にできる便利なシステムですが、当社ではさらに荷下ろしの補助を行う「現場搬入助手」の手配にも力を入れています。人材の手配がなかなか難しい昨今、こちらもお客様のお役に立てていると思います。

◎ 問い合わせ先：
ホームエコ・ロジスティクス(株)
営業部
TEL03-6279-0140



編集室より

■ 弊社ホームページにPDF版を掲載中です。

https://sfc.jp/trecycle/mokuzai_distro/kenzaimonthly.html

住友林業 建材マンスリー

🔍 検索

■ 送付先の変更、広告掲載・誌面に対するご意見などは以下までご連絡ください。

メールアドレス：kenzai-monthly@sfc.co.jp

FAX：03-3214-3263

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

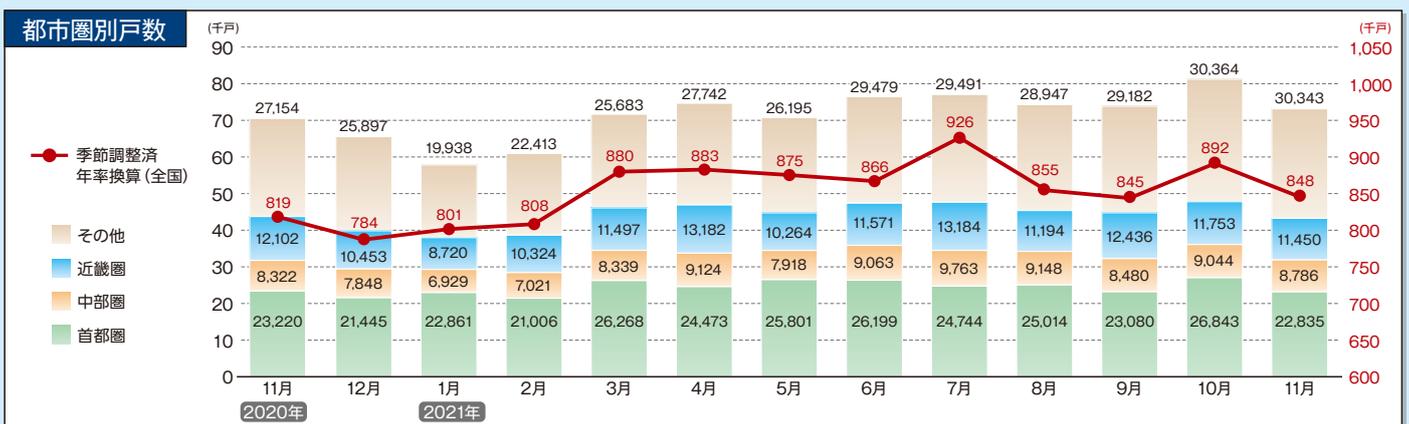
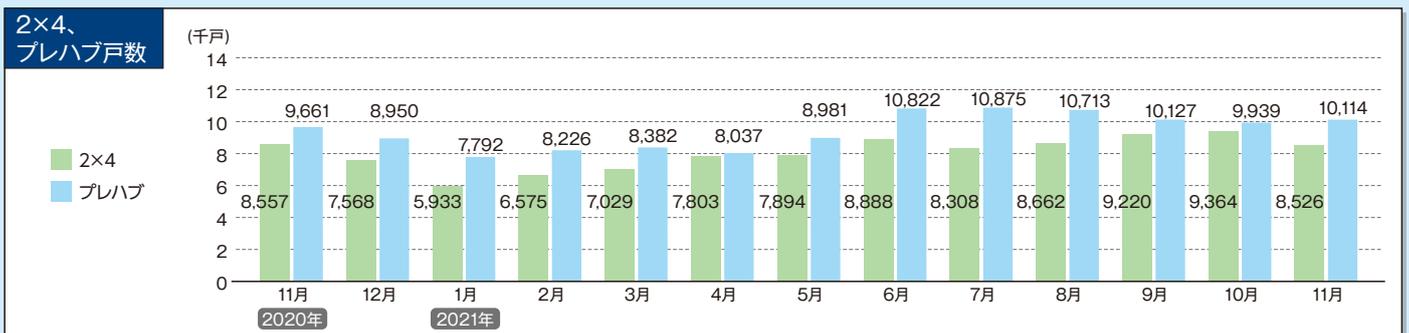
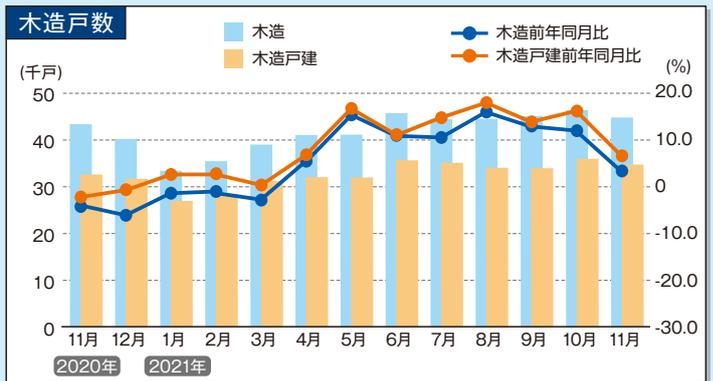
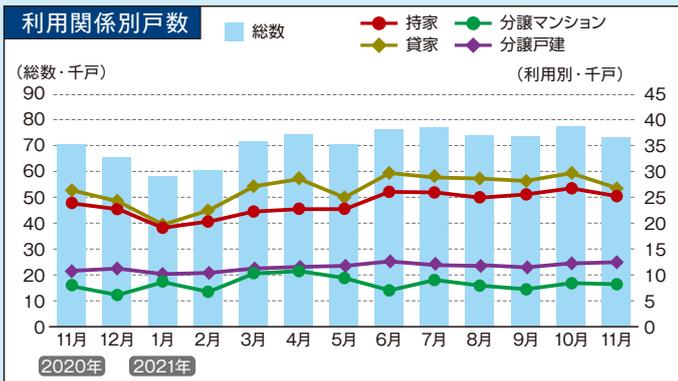
あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。昨年コロナにより多くの制約を受ける1年となりました。そのような中、東京オリンピックでの日本人選手のメダルラッシュや大リーグでの大谷選手の活躍など心躍るニュースも多くありました。制約がある中でもチャレンジ精神を持ち続け、鍛錬を続ける姿は見習うべき点が多々あります。本誌もチャレンジ精神を忘れず、編集部一同気持ちを新たに取組んでまいります。(編集部一同)

表紙：住友林業(株) 住宅・建築事業本部 東京中央支店 ハウジングステージ新宿第二展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

2021年11月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		11月					10月	9月	8月
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		73,414	2,616	3.7%	▲ 109	▲ 0.1%	78,004	73,178	74,303
建築主別	公共	353	▲ 274	▲ 43.7%	▲ 669	▲ 65.5%	713	588	1,173
	民間	73,061	2,890	4.1%	560	0.8%	77,291	72,590	73,130
利用関係別	持家	25,329	1,319	5.5%	1,674	7.1%	26,840	25,659	25,100
	貸家	26,819	368	1.4%	▲ 1,960	▲ 6.8%	29,822	28,254	28,733
	給与住宅	453	▲ 336	▲ 42.6%	183	67.8%	506	410	534
	分譲住宅	20,813	1,265	6.5%	▲ 6	0.0%	20,836	18,855	19,936
	うちマンション うち戸建	8,239 12,509	190 1,137	2.4% 10.0%	244 ▲ 196	3.1% ▲ 1.5%	8,436 12,284	7,251 11,505	7,968 11,783
資金別	民間資金	67,249	3,219	5.0%	1,837	2.8%	70,957	67,102	67,226
	公的資金	6,165	▲ 603	▲ 8.9%	▲ 1,946	▲ 24.0%	7,047	6,076	7,077
	公営住宅	183	▲ 408	▲ 69.0%	▲ 672	▲ 78.6%	621	513	544
	住宅金融機構融資住宅	3,040	▲ 127	▲ 4.0%	▲ 1,336	▲ 30.5%	3,101	2,903	2,906
	都市再生機構建設住宅	155	155	—	155	—	0	0	252
	その他住宅	2,787	▲ 223	▲ 7.4%	▲ 93	▲ 3.2%	3,325	2,660	3,375
構造別	木造	44,881	1,495	3.4%	▲ 445	▲ 1.0%	46,399	45,126	44,587
	非木造	28,533	1,121	4.1%	336	1.2%	31,605	28,052	29,716
	鉄骨鉄筋コンクリート造	75	▲ 66	▲ 46.8%	▲ 329	▲ 81.4%	291	388	110
	鉄筋コンクリート造	17,939	234	1.3%	1,144	6.8%	19,805	17,059	17,709
	鉄骨造	10,425	915	9.6%	▲ 438	▲ 4.0%	11,410	10,517	11,801
	コンクリートブロック造	35	1	2.9%	▲ 40	▲ 53.3%	28	39	29
	その他	59	37	168.2%	▲ 1	▲ 1.7%	71	49	67



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)



BeRiche

CC CROSS COORDINATE



もっと自由に自分らしく。

たくさんの無垢の板や様々な物を観察し、
コーディネート素材との調和や
コントラストの響きあいに考慮し、
創り上げた床・建具のシリーズです。
今まで以上に1柄1柄へ、色変化や艶変化、
手触りを豊かに持たせることによって、
幅広く自由な組み合わせを楽しむことができます。

